



## 読んで愚かになる

放送大学岡山学習センター 客員教授

永田 博



ショウペンハウエルという人はきついことを言う。どこで読んだか定かではない。おそらく独文解釈か何かの学習書であったと思うが、こんな一節をノートに残していた。

Wer sehr viel und fast den ganzen Tag liest, verliert allmählich die Fähigkeit, selbst zu denken – wie einer, der immer reitet, zuletzt das Gehen verlernt. Solches aber ist der Fall sehr vieler Gelehrten: sie haben sich dumm gelesen.

(朝から晩までほとんど本ばかり読んでいる人は次第に自分で考えるという能力を失くしていく。そのありさまはいつも馬に乗っている人が終には歩くことを忘れるのに似ている。しかしこのことは、大多数の学者についても同じことだ。この人たちは本ばかり読んで愚かになってしまっている。)

私は読書家でもないし学者でもないが、この一節、いまなお胸に刺さったままである。

心理学も実証科学である。とはいっても、図表やその説明に目をとおすだけでその研究の科学的価値が一瞬のうちに把握できるほど進んではない。物質過程を研究対象とする分野と異なり、その対象は概念的に構成された行動と心的過程である。そのため論文を「読む」ということは概念的な組立てとそれを具体化する

方法の論理、得られた結果の解釈とその意味づけを辿ることである。こちらは追いかける側である。当然のことながら関連分野の優れた論文を読まねばならない。この種の論文は決まって圧倒的な質で迫ってくる。こちらは専らそれを読む。えっちら、えっちらと論理を追って引用文献と照合する。これは読まねばならん。これも。そしてこれも。文献を取り寄せ、取り寄せ、そして読む。取り寄せた論文からはまた同じことの繰り返し。これが四方八方に拡がり、論文のコピーは山と積み上がる。読もうが読ままいが、どちらにしてもこちらは人の思考の後を追うことになる。

これでは、「読んで愚かになる」どころか「読んで愚か」「読まずに愚か」、ダブル「愚か」の笑い草である。それでも、ここまで研究らしきことをやってきて感じることもある。「振り向いてくれたのはやっぱり自分で考えた、他にない研究だったのかも」というのがそれ。しかし、「自分で考える」といったところで凡骨の身では高が知れたもの、いつの間にかまた読み返っている。ここでもこの人は言う。「読書の際には、ものを考える苦労はほとんどない。自分で思索する仕事をやめて読書に移る時、ほっとした気持ちになるのも、そのためである」(ショウペンハウエル：斎藤忍随訳「読書について」岩波文庫、p. 128)。その言たるや、どこまでも辛辣である。

### contents

【巻頭言】読んで愚かになる	1
学習スケジュールについて	2
次学期の面接授業の科目登録申請について	3
『ミニゼミ』が始まりました！	4
図書館連携講座のご案内	5
行事報告	5
パソコンクラブ主催 2学期科目登録サポート講座	5
第35回 赤レンガフォーラムのご案内	5

大学祭・研修旅行のお知らせ	6
学期開始前の学割申請について	6
入構許可申請中のサービス券の配布中止について	6
できることなら「卒業研究」	6
知は力・知は光	7
同窓会だより	7
スケジュール	8

## 学習スケジュールについて

7月から9月までの学習スケジュールをお知らせします。  
チェック欄を設けていますので、確認作業にご活用ください。



### 通信指導の結果返送と試験通知 (受験票)

『学生生活の栞』  
(学 部：P.70～)  
(大学院：P.65～)

【添削結果返送時期】：6月末～7月上旬

【試験通知(受験票)】

【送付時期】：試験日の約1週間前まで

\* 添削結果と試験通知(受験票)の到着が前後することがあります。

\* 受験票が、7月12日(金)までに届かない場合は、大学本部  
(TEL：043-276-5111(総合受付))に連絡してください。

### 集中放送授業期間 (授業番組の再放送など7月22日(月)～9月30日(月))

### 単位認定試験 【単位認定試験日】：7月19日(金)～7月28日(日)

『学生生活の栞』  
(学 部：P.71～)  
(大学院：P.66～)

放送授業を科目登録し、通信指導の合格により受験資格を得た方は、単位認定試験を受験することができます。

**出題範囲**：第1回から第15回までの放送授業、印刷教材、通信指導問題、自習型問題の範囲です。

**出題形式**：試験の約1か月前に各学習センターに掲示、また、システムWAKABAに掲載。受験票送付時にも併せて通知します。(科目によって、択一式、記述式、両者併用式があり、印刷教材の持ち込みが認められることがあります。)

**試験日時・試験会場(試験室名)**：単位認定試験通知(受験票)に記載されています。

(試験日時は、『授業科目案内』でも確認できます。教養学部P.142～143 大学院P.40)

**試験当日必要なもの**：単位認定試験通知(受験票)と学生証、筆記用具はHBの黒鉛筆(シャープペンシル不可)必携指定のあるもの(電卓・辞書など)

### 次年度の卒業研究履修申請

『学生生活の栞』  
(学 部：P.42～)

**卒業研究**：全科履修生の選択科目

**単位**：所属コースの専門科目として6単位認定(放送授業3単位、面接授業3単位)

2020年度に履修を希望される方は、『卒業研究履修の手引』をよく読んでください。

- ① 『卒業研究履修の手引』を学習センター窓口で入手する
- ② 所属学習センター所長の面談を受ける【必修】…受付期間：6月4日(火)～8月2日(金)
- ③ 【卒業研究相談票及び質問票】を大学本部へ提出して、相談・質問を行うことが可能
- ④ 【卒業研究履修申請書】を大学本部へ提出…期間：8月16日(金)～8月22日(木) 必着！

### 成績通知

『学生生活の栞』  
(学 部：P.74～)  
(大学院：P.69～)

【成績通知時期】：8月下旬

放送授業・面接授業・オンライン授業は、A～Eの6段階評価となります。\*A～Cが合格

合格	A	… 100～90点
	B	… 89～80点
	C	… 79～70点
	D	… 69～60点
	E	… 59～50点

### 次学期の科目登録申請

『学生生活の栞』  
(学 部：P.60～)  
(大学院：P.55～)

次学期に履修する授業科目は、前学期中に科目登録することになっています。

①「科目登録申請票」を大学本部に郵送する方法と、②「システムWAKABA」(インターネット)で科目登録申請する方法があります。どちらか1つの方法で申請してください。①と②の重複はできません。

【科目登録申請時期】

①(郵送)

「科目登録申請票」による申請期間：8月15日(木)～8月30日(金) 私書箱必着

\* 郵送の場合、いったん受け付けた申請内容は、追加、変更、取消はできません。

②(インターネット)

「システムWAKABA」による申請期間：8月15日(木) 9:00～8月31日(土) 24:00

\* インターネットの場合、追加、一部取消は可能です。すべての科目を取消することはできません。

\* 科目登録申請の後、「科目登録決定通知書」が送付されます。

この通知書には、放送授業と面接授業の履修可能科目について記載されています。

通知書に記載されている授業料を、所定の期日までに必ず納入してください。

\* 「科目登録決定通知書」が9月14日(土)になっても到着しない場合、あるいは紛失した場合は大学本部(TEL：043-276-5111(総合受付))にお問い合わせください。

7  
月

8  
月

9  
月

# 次学期の面接授業の科目登録申請について

教務からのお知らせ

『学生生活の葉』  
(学部：P.60～)  
(大学院：P.55～)

## 【次学期に学籍のある方】

前ページにある「次学期の科目登録申請」と同時に行ってください。

## 【今学期で学籍が終了し、継続入学をお考えの方】

8月15日(木) 9:00～8月31日(土) 24:00に、システムWAKABA(インターネット)で継続入学の出願を行い、同時に面接授業科目登録を行ってください。

**ただし、面接授業のみの登録はできません。**



## 単位修得状況及び成績の確認について

単位認定試験終了後、試験結果は8月下旬頃に「成績通知書」によって通知します。なお、システムWAKABAの「履修成績照会」でも成績を確認することができます。

◆放送大学ホームページ→在学生の方へ→システムWAKABA(教務情報システム)→ログイン→学生カルテ→履修成績照会

卒業要件として必要な単位数

卒業要件を満たす上で、現在不足している単位数

現在履修中の単位数(左)と、その単位数を修得した場合の不足単位数(右)

1. 科目区分にかかわる要件

(内は、面接授業の単位数です)

科目区分	卒業必要単位数			再入学者特別要件内訳			履修済単位数内訳		履修中科目単位数内訳	
	取得すべき最低単位数	取得済単位数	不足単位数	取得すべき最低単位数	取得済単位数	不足単位数	本学取得単位数	他大学等取得単位数	履修中科目単位数	不足単位数(見込)
基礎科目(計)	14	16(4)	***			***	2	14	0	***
外国語科目	2	4(0)	***			***	2	2	0	***
コース科目(計)※1	76	51(17)	25			***	9	40	9	22
自コース(人間と文化)	34	13(5)	21	16		***	1	12	9	18
他コース	4	38(12)	***			***	2	28	0	***
総単位数	124 ※3	67(21)	57			***	5	62	9	54

赤色の数字は不足している単位数を表す

2. 授業形態にかかわる要件

授業形態	卒業必要単位数内訳			履修済単位数内訳		履修中科目単位数内訳	
	取得すべき最低単位数	取得済単位数	不足単位数	本学取得単位数	他大学等取得単位数	履修中科目単位数	不足単位数(見込)
放送授業(A)	94	45	49	4	42	0	49
面接授業又はオンライン(B)	20	20	***	0	20	0	***
放送/面接/オンライン(C)※4	10	1	9	1	0	9	6
総単位数(A+B+C)	124	67	57	5	62	9	54

## ◆再試験について

新規に科目登録した学期に単位修得できなかった場合、次の学期に学籍がある場合に限り(休学中の場合を除く)科目登録を行わなくても再試験を受験できます。(再試験に係る授業料等はかかりません。)ただし、「幼児理解及び方法(15)」「教育課程の意義及び編成の方法(15)」「小学校外国語教育教授基礎論(17)」以外のオンライン授業科目は、単位認定試験を行いませんので再試験はありません。単位を修得できなかった場合、再度科目登録が必要ですので、ご注意ください。在学期間が終了する方は、2019年度第2学期の入学手続きを行ってください。

## ◆単位認定試験の解答等の公表について

単位認定試験の解答については、主任講師の了承があった科目のみ公表します。解答を公表しない科目についても、解答の代わりに解答のポイント等(公表しない理由となる場合もあります)を公表します。公表の方法は、単位認定試験問題・解答等(システムWAKABA「学内リンク」(トップページ右上)から遷移)への掲載及び学習センターにおける閲覧です。なお、第1学期は8月下旬頃に閲覧が可能になる予定です。

## ◆再入学について

卒業もしくは在学期間が満了となる場合など、引き続き本学に入学を希望される方は、「成績通知」「卒業認定通知」を確認後にシステムWAKABA「教務情報→継続入学申請」を行ってください。

出願受付の日程(予定)

★2019年度第2学期

第1回: 6月15日(土)～8月31日(土)(必着)

第2回: 9月1日(日)～9月20日(金)(必着)

## 【履修相談をご希望の方へ】

単位認定試験期間中である7月19日(金)～7月28日(日)は、ご相談を受けることができません。試験期間の終了後、電話でご予約の上、事務室へお越しください。

## 『ミニゼミ』が始まりました！

広報からのお知らせ

4月より客員教員によるミニゼミが始まりました。

『ミニゼミ』は、客員の先生方がそれぞれのテーマに沿って講義をし、学生が主体となって発表や討論をしながら勉強を進めていく場です。

講義をご担当の三浦健志先生と各ゼミに参加している学生の方に参加しての感想などお話しいただきました。

### ミニゼミで行いたいこと～ネットで得られる気象データの利用～

客員教授 三浦 健志

最近には様々な資料・データが、従来は紙媒体でしか見ることができなかったものが、インターネットで入手できるようになってきている。気象庁が測定している一般気象観測データも過去に遡って公開されており、全国各地の気温や降水量、その経年変化などもたやすく調べることができる。アメダス気象データは1時間おきに更新されており、降水量については、降水ナウキャストとして、ナウキャストとはnowとforecastを組み合わせた造語で、現在と1時間先までの降水量を、主として気象レーダーによる（雨雲の）観測値をもとに表示・予報されている。その解像度は250m、データ更新は5分毎である。河川水位のリアルタイムデータも、国土交通省と岡山県のホームページで公表されている。昨年の豪雨災害以降、防災関連のコンテンツが充実してきており、「おokayama防災ポータル(<http://www.bousai.pref.okayama.jp/bousai/>)」として総合化され、関連ページへリンクが張られている。



本ミニゼミでは、実習室でパソコンに向かいweb上に公開されている気象データの取得方法を学びながら、コンテンツを閲覧するだけでなく、受講者とともに防災に役立てる方法を考えている。

### 放送大学ミニゼミに参加して

教養学部 全科履修生 奥田 晃一郎

私が、永田博先生の特別セミナーに参加したのは、昨年の4月から。今まで、学術論文など読んだことがなかった事と、学術論文は、どんなものかと興味があったためです。昨年度は、永田先生にお選びいただいた論文を、参加者が事前に読んでおき、当日、先生自ら詳しく解説していただく形式をとっていましたが、今年度からは、お客様形式を脱皮して、参加者自ら論文を選んで、自主紹介する方式に変更。私が、一番手で5月18日に、臨みました。お客様から当事者へ立場が一変。岡山大学附属中央図書館へ出向くなど自分でもビックリ。紹介のための資料を収集。先生からも暖かい激励やアドバイスをいただき、当日へ。解らない事も沢山ありますが、見栄を張らず身の丈で。参加者が、必ず、発言して帰るための材料提供というスタンスで。この方式の方が、ゼミらしくて良い。論文と言うと、敷居が高く感じられるかもしれませんが、様々な職種・年齢の方々が学んでおられる放送大学ならではの意見や感想が聞けてモチベーションも上がります。何月からでも参加は自由です。どんなものなのか、扉を開けて覗いてみませんか。

### 特別セミナー・ミニゼミに参加して

教養学部 全科履修生 中村 幸枝

特別セミナーへの参加のきっかけは、老後の住まいを考えるためでした。磯部先生の特別セミナーで「災害時や高齢化した時に何が必要なのか」を整理したおかげで、納得する決断ができたと思います。災害や高齢化に関しては情報を更新しながら今後の生活に備えるつもりです。



また、特別セミナーは未経験の分野に挑戦するよい機会になりました。わからないけれども続けていると、少しずつわかることが増えて興味が沸いてくることがあります。そんな時他の方々の質問や多様な意見を聞くと、自分の疑問点や意見を言語化できるような気がします。自分だけで考えるより広く深く効率的に学ぶことができるということでしょう。今期から始まったミニゼミは事前準備が必要なものもあり正直楽ではありませんが、私の苦手な「人に伝える力」を身につける機会になればと考えています。

特別セミナーに参加していたら自然と顔見知りの方が増えました。挨拶から雑談、本の貸し借り、情報交換と交流が深まり、学習センターで楽しい時間を過ごせるようになりました。私の時間を充実してくださる人との出会いが一番の収穫です。これからも、先生方、受講者の皆様、よろしくご指導お願いいたします。

## 図書館連携講座のご案内

広報からのお知らせ

放送大学岡山学習センターでは開かれた大学として、一般の方々にも放送大学を知っていただくため、特別セミナーとは別に図書館と連携し、公開講座を開催しています。

日 時：9月7日（土）13：30～15：00（入場無料・申し込み必要 定員50名）  
 場 所：新見市役所南庁舎3階 大会議室  
 講 師：岡山学習センター客員教授 永田 博先生  
 演 題：「漢字もかなも すいすい—もっと知っていい1歳乳児の読み能力—」  
 申し込み先：放送大学岡山学習センター（TEL：086-254-9240）定員に達し次第終了させていただきます。

日 時：9月14日（土）13：30～15：00（入場無料・申し込み必要 定員120名）  
 場 所：岡山県立図書館2階多目的ホール  
 講 師：岡山学習センター客員教授 磯部 作先生  
 演 題：「海ゴミ問題の最近の状況と解決への課題」  
 申し込み先：岡山県立図書館（TEL：086-224-1286/FAX：086-224-1208）講座実施の1カ月前から受付いたします。

日 時：9月21日（土）13：30～15：00（入場無料・申し込み不要）  
 場 所：瀬戸内市民図書館 つどいのへや  
 講 師：岡山学習センター客員教授 坂口 英先生  
 演 題：「草を食べる動物たち—その驚異の栄養戦略について—」

## 行事報告

日 時：6月22日（土）13：30～15：00  
 場 所：津山市立図書館 視聴覚室  
 講 師：岡山学習センター客員教授 久野 修義先生  
 演 題：「鎌倉仏教と美作地域」



## パソコンクラブ主催 2学期科目登録サポート講座

学生サービスからのお知らせ

今学期も、パソコンクラブ主催の科目登録サポート講座を行います。

日時：令和元年8月18日（日）14：00～17：00 ※詳細については、学習センターHPをご覧ください。

## 第35回赤レンガフォーラムのご案内

学生サービスからのお知らせ

学生と教職員の相互の学びのため、年2回赤レンガフォーラムを開催しています。

日 時：令和元年10月13日（日）午後（入場無料・申込不要）  
 13：30～16：30 ※タイムスケジュールの詳細は、HP等でご確認ください。

場 所：放送大学岡山学習センター 6階 講義室2

内 容：【第1部】特別講演 「ヘレンケラーの井戸端の啓示」

〔講 師〕 岡山学習センター 客員教授 永田 博 先生

【第2部】学生発表1 「空襲の歴史と防空法」

〔発表者〕 木内 英豪さん

懇親会：フォーラム後、懇親会をいたします。（会費制・要申込）

※懇親会の詳細が決まりましたら、HP、まなびー通信、センター内掲示にてお知らせいたします。

お知らせ：※利用の手引き（学期開始時に機関誌と一緒に送付したもの）の学年歴の中で、当初ご案内していた赤レンガフォーラムの日程は、9月8日（日）でしたが、令和元年10月13日（日）に変更になりました。

## 大学祭・研修旅行のお知らせ

大学祭は11月3日(祝)、研修旅行は11月23日(祝)に行われます。詳細については決まり次第、学習センターHP、掲示、まなびー通信で告知します。



昨年の大学祭の様子

### 【大学祭について】

通信制の大学には、大学祭がない?!そんな風に思っていないですか?

実は、岡山学習センターでも、毎年大学祭を行っています。サークルの趣向を凝らした出し物や、同窓会の講演会があり、同じ敷地内では、岡山大学でも、大学祭が行われている事から、昨年度、通信制の大学とは思えない活気で賑わいました。人との繋がりが薄くなっていると世間では言われていますが、岡山学習センターでは、サークル活動を中心に学生同士の繋がりが盛んです。普段、忙しくて試験の時しか岡山学習センターに来られない方も、ご家族やご友人と一緒に大学祭に気軽に遊びに来てください。きっと良い思い出が出来ますよ。

## 学期開始前の学割申請について

学生サービスからのお知らせ

必ず、科目登録決定通知と振込済の学費の払込取扱票をご持参ください。継続入学者の方は、選考結果通知(合格通知)と、振込済の学費の払込取扱票をご持参ください。学期開始前は、学習センターのシステムで面接授業の登録可否の確認ができません。誠に申し訳ございませんが、必要な書類が揃っていない場合、学割証の作成をお断りします。

## 入構許可申請中のサービス券の配布中止について(令和元年5月より)

学生サービスからのお知らせ

令和元年5月より、入構許可申請申請中の方に対する、無料サービス券の配布を中止します。岡山大学では、申請中の学生に対して、無料サービス券を発行しておらず、ある程度の交付期間を学生に待って頂いている状況があります。放送大学の学生に対してだけ、申請中の学生に無料サービス券を交付すると言う、特別な対応が出来ないためです。

入構許可申請書は、最長1年間申請する事が出来、毎年度の更新になっています。

(ただし、科目履修生や学籍が1学期で切れる人は、1学期のみ・最長で半年です。)

申請期間内に申請頂ければ、4月の学期開始日に間に合うように配布しています。

毎年、2学期の単位認定試験の時期に、申請書を窓口で配布し、2月の上旬~中旬の間の1週間が申請期間になっています。申請書は、毎年度更新されますので、必ず毎年新しい様式を学習センターで入手してください。申請書は学習センターの窓口とホームページにあげています。

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/okayama/procedure/>

1月初旬のまなびー通信(学習センターのメールマガジン)や、学習センターの掲示板で申請期間のお知らせをしています。

※ただし、入学生は申請期間が違います。

- ①継続入学生は、継続入学の手続きが完了してから、申請してください。申請には、入金を確認出来る書類が必要です。
- ②新規入学生は、4月・10月の学期が開始してから申請してください。

## できることなら「卒業研究」



全科履修生 社会と産業コース卒業 網本 善光

### ● どうして決意したのか?

科目履修生にはじまり、全科履修生へと進んだ私が卒業研究に取り組んだのは、放送大学で学んだ長い時間の証(あかし)を残したかったから。仕事や家族との時間を調整しながら学んだことが形に残れば、自分への「ご褒美」になると単純に思ったのです。

ちなみに、備中松山藩の改革に取り組んだ山田方谷の取組みを研究しました。

### ● そして、どのように進めたのか?

卒業研究の進め方に、私は二通りあると思います。一つは、自分の仮説があって、そこに向かって資料・データを積みあげていく方法(スイスイ型)。そしてもう一つが、自分の調べたいテーマを、試行錯誤しながら深めてゆく方法(ウロウロ型)です。

前者が王道と思うかもしれませんが、私の意見は、後者が王道。なぜなら、研究の醍醐味はその「試行錯誤」にあるからです。先行研究を探し、読み、理解する。そして、自分なりに資料を作り、文章化する。その繰り返しゆえ不安になりますが、不思議なもので、ウロウロした分だけ意外な発見があります。私も何度か小さくガッツポーズしました。

### ● 研究を始めてからはどうだったのか?

とは言え、研究の途中では「壁」にぶち当たります。間違いなく。

私の場合、文書(もんじょ)の読み解きが進まなくて焦りました。指導の先生にも正直にお話ししました。す

ると先生が「定義」の必要性をアドバイスくださいました。

改めて、論点を見直すと、藩政改革そのものを漠然ととらえていたことに気づきました。闇雲に文書を読んでいたのです、私は。その後です、改革後の財政状況を記す文書に出会い、藩の「一般会計」と「特別会計」を分けて考える発想が浮かびました。藩政改革の成功例とされる方谷の改革の評価には、藩財政の「定義」が必要なのでした。

●改めて、どうしようかと思われている方に一言

「調べたい それ立派な 動機です」

## 知は力・知は光



Tシャツは大学の窓出演時のもの

教養学部卒業・大学院卒業・現在も在学中 井藤 恵

私は今、八十路後半を生きている、放送大学入学は公務在職中で有った。職務上の「学び」は必須であるが更に他分野の知見も必要である。さて私は今も学びの日々を過ごしているが、人間は生きる為にはエネルギーが必須である、それは体的には食料、精神的には知見を得る事と思う。即ち「知は力」である。

今私は未来に向かって歩み続けている、これが私の行方を照らす光…即ち「知は光」で有ると思う。

さて大学院への入学はH26年4月文化科学研究科の宇宙環境科学プログラムです。研究内容は銀河系天文学です。宇宙の事は広く深いので現在4%以上は未知の世界とも言われます。指導教授は故海部教授、吉岡教授、谷口教授など大勢の先生に個人的指導を頂きました。毎月実施される幕張ゼミ or 文京ゼミの参加者は学生6名程度指導教授が6人程度で内容は学生の輪講・発表と教授の指導です。

メールやオンライン指導も有ります。人生は全て順風満帆では有りません。在学中に硬膜下血腫の手術もしました。

平成29年大学院コースを卒業、現在学部コースもあと1学部のみです、次は「名誉学生＝グランドスラム」が目標です。また「博士コース」も目標の視野内にある。今、私の人生を振り返る時、充実感 満足感に満ちた感じます。まさに学びは「知の力」「知の光」の賜物と思います。在職中は電波情報工学関係の業務でしたが偶然にも「学歌」最初の詞は「あまたの星々の中のこの地球に…」と有ります。将に私の好きな生き行く道です。

## 同窓会だより

### 学びながら未来の人生は変えられる“学びに終着駅は無し”

岡山学習センター同窓会 谷本 和恵

齢50半ばにして、放送大学でチャレンジな人生の道を、学びを深めながら現在に至っています。通信制大学で学ぶ多くの学友は、いつになっても冒険心や好奇心、向上心を身に付けて活動されています。放送大学に入学時、学ぶ居場所を得られたことは人生の大きなターニングポイントとなったと思います。ひとつ一つ、身の丈に合った勉学方法を求め続けてから10年経たころ、“学びに終着駅はなし”と私の信条を叶えるべく心躍らせ卒業研究への挑戦にとりかかりました。68歳の挑戦です。

4年制大学の学生は卒業と共に夢と希望に燃えて待望の社会人への仲間入りですが、私や多くの放送大学生はそうではありません。社会人として厳しい社会の現場で紆余曲折を経ながら人生経験を蓄えそして尚且つ、放送大学の大きな特徴である“教養”を身に付けるための講座からの学びであり、そこからは「学びに終着駅などは無し」と考えられ多くの経験と学びによって自ら問題を探し研究できる“哲学”の分野に入っていくと思います。

71歳、平成24年9月に、放送大学での卒業証書を授与されました。放送大学岡山学習センターでの学びから多くの知識と友を得ることができました。晩年は学生として学びを重ねること、それも幾ら失敗をしても再挑戦できるという学ぶ姿勢に視点を置いてであり、残りの人生がいかほどであろうとも“挑戦”を選択したのです。そして未来の人生に大きな夢をもって前に進みました。学びを深めるほど「孤独」との闘いでした。国立大学大学院を目指す74歳の高齢女性には、奇異な目で見られ、聴かれたのです。「地域における同年齢の高齢者も半世紀の歳の差を超えて共に学び生きる大学の学生」とも、特殊な人生を共に歩いていると思っています。

ノーベル生理学医学賞受賞の本庶佑氏は「教科書に書いてあることを信じないこと、常に疑いを持って自分の目でものを見ること」と言っています。高齢社会を生きる高齢者にとって、自分の生きたいように生きていくためには、常に疑問をもって注意深く“視・聴き”をし、学び続けることが大事だと考えています。自分の生き方を生きるということは、みんなの中、取分け雑踏の中にも時々孤独を感じるものです。けれども孤独を見られているその心中には、はてしない自由があり夢が広がっています。

大学院を修了後、地域高齢者と共に“脱社会的高齢者”を目指して社会参加活動に参加しつつ、多様な社会の一員として学んだことを活かすとともに人間の和・輪を広げていって活動をしております。

ここ岡山学習センターに学ぶ多くの皆さんの生き方は、それぞれ素晴らしく輝いておられます。高齢社会をいかに生きるべきか、生き方をご一緒に模索していきましょう。

私の学びの基地である放送大学岡山学習センターは、学びの楽しさを教えてくれたのです。役立つことをと願い、そしてよい交流に恵まれますことを望み、皆様とともに学べる日々感謝の昨今です。

スケジュール

7 JUL.	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

- 7月**
- 4日(木) 大学説明会
  - 7日(日) 卒業研究ガイダンス  
大学院修士全科生入学希望者ガイダンス
  - 19日(金)・20日(土) 単位認定試験(大学院)
  - 21日(日)・23日(火)～25日(木)  
単位認定試験(学部)
  - 26日(金) 閉所日
  - 27日(土)・28日(日) 単位認定試験(学部)
  - 30日(火) 臨時閉所日

8 AUG.	月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	

- 8月**
- 3日(土) 大学説明会
  - 11日(日)～14日(水) 閉所日
  - 15日(木)  
第2学期科目登録申請受付開始(Web/郵送)  
大学院出願受付開始【修士・博士】
  - 17日(土) 学士(看護学)等取得説明会
  - 18日(日) 美術館見学講座
  - 24日(土)・25日(日) 教免更新講習修了試験
  - 30日(金) 第2学期科目登録申請受付締切  
(郵送\*本部必着)
  - 31日(土) 第2学期科目登録申請受付締切(Web)  
第2学期学生募集受付締切(第1回)  
大学院出願受付締切

9 SEP.	月	火	水	木	金	土	日
							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30						

- 9月**
- 1日(日) 第2学期学生募集受付開始(第2回)
  - 7日(土) 新見市学術交流センター図書館連携講座
  - 14日(土) 県立図書館連携講座
  - 20日(金) 第2学期学生募集受付締切(第2回)
  - 21日(土) 瀬戸内市民図書館連携講座
  - 27日(金)・28日(土)  
夏季集中科目 単位認定試験【看護】
  - 29日(日) 第1学期 卒業証書・学位記伝達式  
第2学期 入学者の集い

※カレンダーの 部分(青い背景)は閉所日です。

岡山学習センターの開所時間について

区分	曜日	センター事務室および 視聴学習室・図書室
通常期間	火～金	10:00～18:30
	土・日	9:30～18:00
単位認定試験期間中		9:00～19:00

◆閉所日

- ・毎月曜日
- ・国民の祝日に関する法律に定める祝日及び休日
- ・特別警報または暴風警報の発令による閉所や、都合により利用時間の変更や臨時閉所することがあります。その場合は、掲示板やホームページなどでお知らせします。

放送大学岡山学習センター 〒700-0082 岡山市北区津島中3-1-1 (岡山大津島キャンパス内)  
TEL: 086-254-9240 FAX: 086-254-9286 e-mail: okayama-sc@uj.ac.jp

HP: [岡山学習センター](#)  またはQRコード

